



# 共済福祉社会だより

社会福祉法人 共済福祉会 発行責任者 石津 博士  
住所 静岡県田方郡函南町平井717-2 TEL 055(978)4100  
ホームページ <http://kyosaifukushikai.jp/>  
e-mail:info@kyosaifukushikai.jp



地域・利用者皆さんの安心めざし  
—平成二五年度を迎えて—

理事長 石津 博士



新年度がスタートしました。いつもこの時期は、今年度も利用者・家族の皆さんに満足してもらえる介護サービスが提供でき、私どもを選んでいただけるようにとの思いを新たにしています。

今年も、紙面で紹介していきますようにフレッシュな新人を迎えています。介護は「よりそうころろ」と言われています。この深い普遍のころろをすこしずつ理解しながら、一日も早く利用者の皆さんに安心してもらえるように成長することを期待しています。利用者の皆さん、あたたかく見守ってくださいね。

介護を取り巻く環境は、大きく変わっていくものとしていきます。国が推奨しています地域包括ケアシステム構築は、「介護は施設から居宅（自宅）へ」へ変化させていくことのことです。各地域での生活様式は多様であることから、地域の皆さん、行政・医療・介護等の関係者が地域にあった取り組み「地域力」が求められます。私は、自事業所のことも重要ですが、地域福祉全体について日ごろから心に留め、利用者・家族の皆さんや地域の要望など職員全員で情報を集め、関係者との連携も深めながら、地域・利用者皆さんの安心をめざした事業運営に努めていきます。今年度もよろしくお願ひします。



## 新入職員紹介



松村 采佳

一二年間の学生生活を経て、社会人になった今、これからの皆さんの試練があると思います。先輩方から学び、社会人としての自覚を持ちます。



水上 慧美

私は、これから職員としてまず疑問点を解消し学ぶべきことを覚える努力を続け利用者様や業務に対して責任ある行動をとれるように努めます。



橋本 彩

職場環境に少しでも早く慣れ、たくさんの方にアドバイスをもらい勉強をしながら日々成長していけるように頑張っていきたいです。



杉澤 奏

私は、ひとつのことに気をとられてしまうことが多くある為こうした短所を直し、全体を見て行動できるよう努めていきたいと思っています。



内野 咲姫

常に笑顔でいることを心がけ、利用者さんに楽しい生活を送っていただけるように、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



藤澤ちひろ

失敗を恐れず積極的に経験を積み常に前向きに努力し成長していく。また社会人としての常識・礼儀を身に付け人とのつながりを大事にする。

### 高齢者福祉部

#### 新たな挑戦

高齢者福祉部長

宮本良美

あれから二年、東日本大震災による被害を被った方々は、復旧から復活へ、限らない前進への道筋を模索し、悩み、そして試行錯誤から新たな一歩へと、挑戦を続けています。

翻って、高齢者福祉事業を取り巻く環境は、二〇一五年までに、あと一〇〇万人の介護従事者を必要とすると言われていきます。いま、現役で介護現場に携わっている私たちが準備しておくべきことは何か、自問自答すれば必然的に出てくる事があります。これから福祉の現場で働く人達に、遣り甲斐や働き甲斐に溢れた明るい福祉への道筋を示していくことです。

「ゴールは遠いが、山頂は見えた」。先頃の山中伸弥教授の言葉ですが、私達が目指す「科学的介護」の頂きを見据え、ゴールは遠くても着実に前進することが後に続く人達への私たちの務めであり、義務であると思えます。

利用者に喜んでいただき職員が働き甲斐や遣り甲斐を全身で感じ、地域社会の中で重要な社会性を発揮し続けるために必要な事は「意識改革」そして「行動改革」です。

新たな挑戦は不断の努力によつてのみ達成されます。福祉に対する水準を高め、さらなるサービス品質の向上を実現するために、職員一人ひとりの「気付き」を今まで以上に大切にすることから始めます。

気付きは、生活のあらゆる場面で、利用者の心の変化や身体の変化を感じ取り、生活サイクルの中で次から次へ快適な環境を創り出していきます。気付きは、「心のセンサー」です。心のセンサーを磨き感度を高めることに挑戦し、利用者と共に愉快で快適な環境の中で、心地よい生活を創出していく事が、将来、福祉現場で活躍される人達への贈り物と思っています。

「私」の心には有りませんか」すべてはここから始まります。この課題に全職員一丸となって取り組んでいきます。

#### 新たなスタート

伊豆白寿園

介護係長 田中博恵

今年度の伊豆白寿園は、職員全員が仕事に対する意識を変え、今年度としてスタートしました。これまでも利用者サービスの向上、職員の質の向上を目指し、日々取り組んできておりますが、今年度は、新たに三名の新卒者を迎え、気持ちも新たに、より一層職員一人一人が気付いて考え、仕事に対する姿勢を行動に移し、利用者個々の満足に繋がる介護を追究していくこととされています。その取り組みがやりがいに繋がって達成感を共有しコミュニケーションあふれる職場を目指し、利用者が快適に安全に生活していただくために職員全員で努力を惜しまず、邁進してまいります。

#### 地域の交流

かなみ老人デイサービス

センター長 青木章一

これまで、利用者の安全と安心を最優先しながら、当センターが利用者にとって楽しく

く交流できる場として努めてきました。

活動を例にとれば、運動活動として、竹踏み体操、パターゴルフ、ボウリング、輪投げ等があります。

また、その他の活動として個別の趣味活動、陶芸、フラワーアレンジメント、脳トレーニング、月別創作活動等があります。

地域の方々が互いに交流を図り、楽しめるデイサービス、それを私たちは目指します。

#### 心の触れ合い

ほほえみ訪問介護センター

センター長 宮内孝文

訪問介護では、利用者のご自宅に伺い、身体介護・生活援助のサービスを提供させていただいております。

身体介護では食事・排泄・入浴を中心に、生活援助では買い物・調理・掃除等のお手伝いをさせていただいております。

住み慣れたご自宅で、日々の日常生活が安全に、そして安心して送る事ができるように、利用者の皆様にきめ細かく柔軟なサービスを介護のプ

口として提供できるように、「ほほえんで、ほほえみかえし、心と心との触れ合いを大切に」をモットーに日々努めてまいります。

#### 心を新たに

ほほえみ居宅介護支援事業所

センター長 早崎万由美

当事業所は開設以来一二年となりませんが、現在職員五名で一七〇名程の利用者を担当させていただいております。

介護支援専門員の事は、介護保険制度のサービスはもとより、その他の社会資源を活用しながら利用者の自立支援のお手伝いをさせていただくことです。

包括的ケアシステムが唱えられる中、利用者・ご家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために、職員一人一人が研鑽・努力を重ね、利用者・ご家族と常に寄り添いながら務めたいと考えております。



### 障害者福祉部

#### 新年度を迎えて

障害者福祉部長

矢野 秀男

新年度がスタートし、年金・雇用など新たな制度が変わりました。年金の支給年齢の引き上げ、六五歳まで再雇用する改正高年齢者雇用安定法の施行などです。

「障害者自立支援法」は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」となり、障害者の範囲に難病等が追加されるほか、障害福祉サービスなどの改正が行われます。今後は、障害支援区分の創設で認定を含めた支給決定のあり方など見直す事となります。これら制度を注視しながら、これからも地域に信頼・支持され利用者に満足していただける共済福祉会障害者福祉部として努めてまいります。

#### 平成二五年度の取り組み

伊豆リハビリテーションセンター

介護係長 長谷川美恵子

新体系へ移行し、一年が経ちました。

自立訓練の方はこの一年間家事・福祉用具・地域サービスについて等、社会生活力を高める勉強をしてきました。今年度はいよいよ地域移行に向け具体的に進めていきます。ご本人・ご家族・地域関係機関と職員が一体になりスムーズに移行出来るよう調整支援してまいります。

生活介護の方は施設生活を充実して頂けるよう、日頃より感染症対策・環境整備に努め、福祉用具を活用し利用者が安全・安心に生活出来るよう、努めています。当施設の特徴である機能維持向上のプログラムと余暇活動・個別支援の充実を図っていき、生活介護からも地域移行を視野に入れた支援を目指しています。

頑張ります。

#### チームワークでより良いサービス

伊豆ライフケアホーム

介護係長 木村 典子

高齢化と重度化に伴い、利用者ベッドで過ごす時間が増えています。ベッド上でも快適に、そして拘縮を予防するためにポジショニングの対応を今年度私たちの課題と考えています。

利用者に合ったベッド・マット選び、そして体位交換用クッションの活用方法などを従来の係活動とは別の取り組みとしてチーム「ローリング」を立ち上げました。

ワーカー・PTで構成されていますが、他職種との連携・専門家を迎えての勉強会なども計画していく予定です。

今年度もライフの職員全員、チームワークでより良いサービスを目指して行きます。

#### 新年度へ…今!

伊豆ふれあいデイサービスセンター

介護係長 渋川 睦子

デイは今年、新人職員を仲間に加え、それぞれの想いと期待を胸に二五年度へ、新たなスタートを切りました。未来を担う風。私たちはこの新しい風を発火点にして、「サービスの質」更に「心の質」の向上を言葉によりアクトタイプに、活力のあるデイを目指し一丸となって進んでいきます。

今年は何もがリーダー、職員一人一人が力を十分に発揮して介護の原点を見つめつつ積極的に取り組み行動します。何よりも利用者の笑顔を糧に、自分自身の持つ力に信じて、「過去」を悔まず、「未来」を恐れず、「現在」に全力を尽くす。

正に今…でしょ!

#### 飛躍の年に

相談支援事業所リベルテ

担当係長 竹村聖一郎

昨年からリベルテでは、特定相談、障害児相談、一般相談、と細分化された相談支援の事業すべてに対応できるよう申請を行いました。特定相談、障害児相談では、障害福祉サービスを利用する方のサービス等利用計画を作成してモニタリングを行います。一般相談では、長期入院、入所されている方の地域への移行、定着の支援を行っていきます。

これまでごおり様々な相談に応じる姿勢は変わりません。リベルテでは、障害のある方とご家族に寄り添い、より良い生活が送れるようお話を伺いしていきます。



第二七〇回評議員会・第一二六回理事会を開催

平成二五年度事業計画案等が承認される

第一二六回理事会・第二七〇回評議員会が平成二五年三月二六日に開催され平成二五年度の事業計画・収支予算書が承認されました。

平成二五年度は第三次中期経営計画の実施初年度になりますが、中期経営計画では国が推進している地域包括ケアシステム構築の準備期間として位置づけ、対応する行政等の動向把握や病院等との連携強化など、将来に向けた基盤強化を目標に掲げ策定しています。平成二五年度の事業計画は第三次中期経営計画を踏まえ安定した基盤強化、利用者の安心・安全な生活環境を保持するために、効率的な施設設備改修計画の推進などを中心に「安定した事業運営」「地域貢献」「利用者の満足度向上」「人材育成」「コミュニケーション充実」の五本柱を基本に策定しています。

①平成二四年度の介護制度・報酬改定を踏まえた体制整備と事業所毎のベッド稼働率や

利用率等の目標達成と効果的な経費支出による収益の確保を図る。

②中長期施設設備改修計画に基づき、平成二三年度から効率的な改修工事を進めていますが、平成二六年度からの消費税アップを見込み、平成二六年度以降の工事の前倒し等の推進を図っていきます。

③その他、平成二四年度の実績を踏まえ、各種施策等の内容の充実を図っていきます。

平成25年度経常活動収支予算書 (単位：千円)

収入の部		支出の部	
介護保険収入	500,747	人件費	715,592
自立支援費等収入	528,846	事務費	168,742
補助事業等収入	19,136	事業費	140,452
経常経費補助金収入	348	小計	1,024,786
小計	1,049,077	その他支出	3,700
その他収入	33,338	収支差	53,929
計	1,082,415	計	1,082,415

ちよとつと情報

このコーナーでは、障害のある方や高齢の方が生活し易いように、ちょっとしたアイデアを紹介していきます。

初回のご紹介は、障害者福祉部から二点です。

①身体を洗いやすく

脳梗塞や脳出血の後遺症等で、身体に麻痺がある場合、「お風呂で身体を洗うのが大変」という方も多いのではないのでしょうか。柄のついたブラシも市販されていますが、ナイロンタオルの両端に紐を縫いつけることで、握る力が弱い方や、麻痺がある方でも自分で背中を洗うことができます。



②いつでも清潔に

オムツを使用されている方は、排泄後にお尻拭きや布等で清拭をされていると思いますが、しかし擦って皮膚が赤くなってしまうたり、洗い流せたらすっきりするのに…と思う事はありませんか？



介護用品でシャワーボトルとして販売もされていますが、身近な物で代用も出来ます。空になったペットボトルに百円ショップで販売されているジョウロの口を付けます。簡単に出来る上、ペットボトルは交換出来るので衛生的です。ぜひお試しください。

今後皆さまのお役に立てるような情報を掲載していきますので、お楽しみに！

ご寄付ありがとうございました

【寄贈品】

東静岡ヤクルト販売様

「苦情」受付窓口

- ◆ 伊豆白寿園 055-978-7511 (田中博恵)
- ◆ かなみ老人デイサービス 055-978-0555 (青木章一)
- ◆ ほほえみ訪問介護センター 055-978-4126 (宮内孝文)
- ◆ ほほえみ居宅介護支援事業所 055-978-0588 (早崎万由美)
- ◆ 伊豆リハビリテーションセンター 055-978-5111 (長谷川美恵子)
- ◆ 伊豆ライフケアホーム 055-978-0811 (木村典子)
- ◆ 伊豆ふれあいデイサービスセンター 055-978-1888 (渋川睦子)
- ◆ リベルテ 055-978-4187 (竹村聖一郎)

◆ 編集後記 ◆

一面写真・狩野川さくら公園(伊豆の国市) 久しぶりの良い天気誘われて桜を撮影に出掛けました。

桜の枝越しに遠くの富士山がきれいに見えました。公園は、カップルや学生達で賑わっていました。ほんの少し学生時代の自分を思い出しました。伊豆ライフケアホーム職員 渡邊 知里